



取締役社長

黒沢 仁一

ドラム愛好家からプロまで 全てのドラマーに伝えるショップ

有限会社 佐竹

SATAKE'S DRUM SHOP

愛知県名古屋市千種区千種通 7-101 コロノビル 2F

URL : <http://www.satake-drum.com/>

約 40 年続く老舗ドラムショップ『佐竹』。ドラム用品の販売、メンテナンス、そしてドラムレッスンを手掛けており、初心者からプロまで、幅広いドラマーのニーズに応えている。本日は、そんな同店を二代目として引き継いだ黒沢社長に、俳優の大沢樹生氏がお話を伺った。

——まずは、『佐竹』さんの業容から。

当店はドラム用品の販売、メンテナンス、そしてドラムレッスンを行っております。前オーナーであるプロドラマーの佐竹さんが 39 年前に始めた店でして、私は 2025 年 9 月にその後を継ぎました。店頭での販売だけでなく、近隣の学校や公共楽団、ライブハウスなどの楽器メンテナンスも手掛けています。また、上階のスタジオでは中学生から 70 代の方まで幅広い層を対象にレッスンを行っており、私自身も講師として指導にあたっています。

——黒沢社長はどのような経緯でこの世界に入られたのですか。

私は福島県出身で、中学 3 年生でバンドを始め、大学卒業後もドラムを続けていました。一方で仕事としては、4 年前まで四日市市にある化学メーカーでプラスチックの研究開発に携わっており、エンジニアとしてキャリアを積んでいたのです。そんな中で、20 年ほど前にこの生徒として佐竹さんに師事したのが縁の始まりです。佐竹さんが引退を決意された際、「誰か引き継いでくれる人はいないか」という話になり、手を挙げました。別の候補者の方もいらっしゃったそうですが、巡り巡って私に話が回ってきたことに強い運命を感じて、当店を継ぐ決意をしました。

——お仕事をされる上で、社長が大切にしていることは何でしょう。

技術へのこだわりと楽しむ姿勢の両立です。メンテナンスに関しては、前職のエンジニア時代に培った機械加工の技術が非常に役立っています。ドラムを叩くこと以上に、楽器をいじったり直したりすることには自信があり、精度の高いサポートを提供できていると自負しております。また、レッスンにおいては「一緒にやりましょう」というスタンスを大切にしています。私は、生徒さんが過度なプレッシャーを感じず、純粋にドラムを楽しめる環境づくりを心掛けています。

——お店のこだわりや強みについては、どのようにお考えですか。

プロショップとしての深いサポートを大切にしています。流行のものや安価なものをただ並べるのではなく、プロの方が来ても満足いただけるような、こだわりの商品の一つひとつを提供することを、守るべき教えとして先代から引き継いでいます。ビルの暗い階段を上った先にあるお店なので、一見入りにくいかもしれませんが、だからこそ「ここに行けば間違いなし」と言っていただけの専門性を追求し続けたい。もちろん初心者の方でも大歓迎ですが、中級者、そしてプロへと繋がる確かな技術と知識を提供し続けることが私の使命だと思っています。

——最後に、今後の展望を伺います。

一番の目標は、この店を継続させていくことです。40 年近く続いてきたこの歴史を、まずは 50 年、そして 70 年、

100 年と繋いでいきたい。人との繋がりを大切に、リピーターの方や地域の方々に必要とされる場所であり続けたいと考えています。そしていつの日か、私もしっかりと次の世代にバトンを渡せるように、お店を成長させていきたいですね。エンジニア時代の経験とドラムへの情熱を糧として、これからも現場のドラマーたちを支え続けていきます。

(2026 年 2 月取材)



ドラムへの情熱を胸に、熱心に事業に取り組んでおられる黒沢社長。先代はもちろん、多くのドラマーにとって心強い存在だと感じましたね。これからも頑張ってください！



interviewer
大沢 樹生